



「いのちスケッチ」公開 ロケットスタート！

セントラルシネマ大牟田では、
早くも観客動員数が1万人超え

「いのちスケッチ」が11月8日から公開され、セントラルシネマ大牟田は、連日多くの人で賑わっています。同劇場では、公開14日目ですでに1万人を超え、同館での歴代最速の記録となりました。映画館からも「完全なオリジナル作品でこれだけ多くのお客さんが入ることに驚いています」と喜びの声が聞かれました。



公開2日目の11月9日には、ヒロイン・藤本泉さんも舞台あいさつに登場。ロケ以来の大牟田でしたが「撮影期間中の皆さんのおもてなしが嬉しくて、故郷に帰ってきたような気分です」と話しました。

瀬木監督より

この記録は、市民の皆様の本作への期待の表れであるとともに、故郷への愛情が無限大であることを示しています。大牟田の人情の真ん中には、熱く、冷めにくい、まるで燃える石のような、大牟田への愛があり、それは実に感動的です。本作により大牟田への誇りが醸成され、一層深まることを願っております。



入場1万人目の塘内さんご夫婦

福岡市から遊びに来ていたお孫さんと来館した市内在住の塘内さん。「大牟田市が舞台の映画で、孫も動物が大好きなので一緒に見に来ました。来館1万人目ということで、とてもいい記念になりました。明日は動物園にも行きます」と話されました。

映画を見終わった皆さんの感想



- ・とてもあたたかい気持ちになる映画でした。周りの人にも薦めます。
- ・こんなにいい作品を作っていただき、瀬木監督をはじめ、みなさんに感謝です。動物園の取り組みもよく伝わりました。
- ・見ていて何回も涙が出ました。自分が大牟田を好きなんだって、改めて思いました。



映画の舞台となった動物園でも、「いのちスケッチ」を盛り上げています！



延命動物園看板が復活！

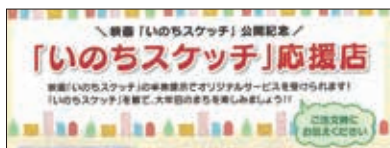
映画のロケに使われた「延命動物園」の看板が、期間限定で設置されています。映画公開記念ボードもあり、映画のフォトスポットのひとつになっています。

動物園の案内看板を作りました

動物園まで歩いて行く人に、道中楽しんでもらおうと10月26日、手作りの案内看板を作るイベントを開催しました。完成した12種類の看板は、大牟田駅から動物園までの間の国道208号沿いに設置されています。



映画の半券を提示して、サービスを受けましょう！



映画「いのちスケッチ」の半券を提示すると、オリジナルのサービスが受けられる応援店が100店以上。映画を見終わっても、半券はとっておきましょう！応援店が載っているパンフレットは、セントラルシネマや地区公民館などに置いています。

瀬木監督、東奔西走！

監督自らがさまざまな所に出向き、映画を作った経緯や裏話、大牟田市への思いなどを話されています。



さまざまなトークイベントに出席。写真は、大牟田の漫画文化に関するイベントで、大牟田大使の道山智之さんと。(10月20日、カルタ・歴史資料館)

ロケ地マップで、聖地巡り！



約30カ所のロケ地を紹介！

ロケのほとんどが大牟田市で行われた「いのちスケッチ」。映画の撮影地を紹介した「ロケ地マップ」ができました。セントラルシネマや地区公民館などで配布していますので、マップ片手に、いのちスケッチ聖地巡りをしてみませんか。

小学校や高校でも熱く講演。子どもたちへ「大牟田は素晴らしい町ということを知って」と話しました。(11月8日、天の原小学校)



Segi's Bar と題した、食事をしながらのざっくばらんなトークイベントを定期的開催。たくさんの人と交流を深めています。



発行 広報課 (☎) 412505